

重点目標一覧表

担当部局名 真田地域自治センター

【平成24年度重点目標】

【平成25年度重点目標】

重点目標	地域公共交通の推進	重点目標	地域公共交通の推進	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）		
達成状況・達成度		期限・数値目標等		
1	<p>料金低減バス実証運行のための説明会の開催</p> <p>バス利用促進のための広報活動</p> <p>真田地域公共交通利用促進協議会の総会及び臨時総会の開催</p>	<p>5月に真田地区4会場で住民懇談会を開催 出席者延べ60人 7月に36自治会の「地域づくり委員会」で説明</p> <p>6月に「ギャラリーバス」、7月に「七夕バス」を運行、7月に小学生対象の「スタンプラリー」を実施(プレゼント交換52人)、8月真田まつりに併せ、路線バス乗車体験を実施(約150人)、12月本原小1年生43人を対象に、「バスの乗り方教室」を開催、「クリスマスイベント」を実施(花の球根1,030個配布)その他、公共交通利用促進の啓発を実施</p> <p>7月4日総会を開催、9月に予定していた臨時総会は、運賃低減バスの実施が来年度となったため未開催</p>	<p>料金低減バス実証運行のため、真田地域協議会、真田地域公共交通利用促進協議会をはじめとする諸団体にPR説明会を開催</p> <p>バス利用促進イベントの開催</p> <p>真田地域公共交通利用促進協議会の総会及び役員会の開催</p>	<p>4～9月</p> <p>7月～3月に七夕バス・バス乗車体験、クリスマスイベント、ギャラリーバス等に取組む</p> <p>総会 7月、役員会 随時</p>
重点目標	真田地域の観光と農業を活かした地域づくり	重点目標	真田地域の特色を活かした誘客の推進	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）		
達成状況・達成度		期限・数値目標等		
2	<p>真田の郷観光案内板、説明板の整備</p> <p>遊休荒廃地解消に向けた農業振興</p> <p>歴史館特別展</p> <p>ゆきむら夢工房に電動アシスト付自転車の配備</p> <p>根子岳登山道の改修</p>	<p>観光ルート1コースを確定しマップを作成 案内看板16箇所を整備</p> <p>景観向上に向けた蕎麦栽培を推進し、遊休荒廃地の解消(2.02ha)</p> <p>H24年度入場者数31,738人(前年度比2,729人増)</p> <p>電動アシスト付自転車10台を導入し、合計15台を配備</p> <p>根子岳登山道414mを整備(竣工10月24日)</p>	<p>ゆきむら夢工房拠点化整備</p> <p>(1)トイレ増築工事、大型駐車場整備</p> <p>(2)休み処、お土産品の拡充</p> <p>(3)そば打ち教室の開催</p> <p>真田氏関連施設周遊車両による誘客</p> <p>・6月～8月の土日運行</p> <p>真田氏歴史館特別展</p> <p>・真田氏関連の遺品展示(7月～9月)</p> <p>観光ルート整備</p> <p>・真田の郷観光案内板の整備</p>	<p>(1)年度内</p> <p>(2)年度内</p> <p>(3)年度内(12回)</p> <p>利用客200人</p> <p>期間中入館者9,000人</p> <p>年度内(2ルート・案内板20箇所)</p>
重点目標	地域内分権確立に向けての住民自治組織の検討	重点目標	地域内分権確立に向けての住民自治組織の検討	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）		
達成状況・達成度		期限・数値目標等		
3	<p>「地域まちづくり方針」の具現化に向けた調査研究活動の支援</p> <p>地域づくり委員会の機能強化</p> <p>「地域自治センターだより」を計画的に発行し、地域協議会の活動状況を発信</p>	<p>年度末までに11回の地域協議会を開催し、地域まちづくり方針の具体化に向けて3分科会で協議</p> <p>4月に地域づくり委員会開催要綱を整備し、地域づくり委員会を地域課題について協議する場として位置づけ</p> <p>地域住民の理解が深まるよう、5・7・9・11・1・3月に6回発行</p>	<p>住民自治組織のあり方を地域協議会と自治会連絡会議で協議・検討</p> <p>地域づくり委員会の継続性強化の検討</p> <p>自治センターだよりによる発信</p>	<p>年度内</p> <p>年度内</p> <p>年6回発行</p>
重点目標	ラグビーワールドカップ2019に向けた受入体制及び関連施設等の検討	重点目標	菅平高原スポーツ観光の推進	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）		
達成状況・達成度		期限・数値目標等		
4	<p>ラグビーワールドカップ2019に向けた受入体制の検討</p> <p>菅平高原自然館及び附帯施設の方角性の検討</p> <p>菅平湿原に係る調査・研究</p> <p>菅平湿原内の木道・木橋の改修</p>	<p>ラグビーワールドカップ組織委員会事務局と情報交換</p> <p>地元、観光協会等と3回ワークショップ開催し、附帯施設の検討</p> <p>地元関係者と連携し、観光客増加による経済波及効果を検証</p> <p>県内湿原整備先進地3箇所を視察、環境省等関係者と協議・検討</p> <p>地元NPOとともに木道約200mを復旧、木橋5箇所を修繕</p>	<p>菅平高原スポーツランド整備</p> <p>(1)第3種公認継続に向け陸上競技場の施設整備</p> <p>(2)菅平高原スポーツランド指定管理者制度移行検討</p> <p>菅平高原スポーツ観光拠点施設整備検討</p> <p>ラグビーワールドカップ2019キャンプ地誘致の体制検討</p>	<p>(1)11月(日本陸連第3種陸上競技場公認)</p> <p>(2)年度内(条例、指定管理者選定検討)</p> <p>年度内(実施計画への計上)</p> <p>年度内</p>
重点目標	災害時要援護者登録制度の推進	重点目標	災害時要援護者登録制度の推進	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）		
達成状況・達成度		期限・数値目標等		
5	<p>自治会長に対する説明会</p> <p>各自治会における説明会、役員との打合せ</p> <p>民生児童委員協議会、社会福祉協議会との連携</p> <p>自治会での制度取組</p>	<p>4月行政懇談会、5月研修会、1月自治会連絡会において制度説明</p> <p>7月 24自治会で説明、自治会役員等への説明会11自治会</p> <p>5月・12月 民生児童委員協議会で制度推進に向けた打合せを実施</p> <p>10月・2月 福祉推進委員・福祉委員合同研修会で研修実施</p> <p>今年度 10自治会で制度取組を決定(累計21自治会)</p>	<p>自治会長に対する説明会</p> <p>各自治会における説明会、役員との打合せ</p> <p>民生児童委員協議会、社会福祉協議会との連携</p> <p>自治会での制度取組</p>	<p>5月に実施</p> <p>自治会役員等説明会15自治会</p> <p>民生児童委員協議会、社会福祉協議会と連携し制度普及を推進</p> <p>平成25年度末までに全自治会で実施</p>

市長指示事項	市長指示事項
<ul style="list-style-type: none"> ・料金低減バスの運行については、より住民に利用してもらえるよう取り組むこと。 ・「そばの郷」構想については、方向付けをし、工夫を凝らして発展できるよう取り組むこと。 ・菅平高原の振興については、ラグビーワールドカップを視野に入れ関係者と連携し取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・菅平高原の振興策については、行政としてできることを着実に進めるとともに、スポーツだけでなく自然など他の分野でのPRについても研究し取り組むこと。 ・大阪城入城400年を契機と捉え、関係部局とも連携し、観光に結び付くようセンターとして取り組むこと。